

京成電鉄 新型スカイライナー



編成全長：153m (8両時)
編成定員：398名 (8両時)
施主：京成電鉄 (株)
車両デザイン：(株) 山本寛斎事務所
設計・施工：日本車輛製造 (株)
東急車輛製造 (株)
営業開始予定：平成22年7月

'10年度開業予定の成田新高速鉄道経由で、東京・日暮里駅と成田空港(空港第2ビル駅)をわずか36分で結ぶ京成新型スカイライナー。客室内の照明は、ソフトな光の広がり感のある間接照明により、旅への期待を膨らませる配慮と同時に疲れを癒すひとときの演出を図っています。

東京と成田空港を最短36分で結ぶ、最高時速160kmの空港アクセス特急

東京の京成上野駅から成田空港への鉄道アクセスを担う京成電鉄は、2010年7月に予定される「成田新高速鉄道」の開業に合わせて新型スカイライナーを完成させました。

現在、東京(日暮里駅)と成田空港(空港第2ビル駅)間は、京成本線経由のスカイライナーにより最短51分で結ばれていますが、新設のルートと在来線では最高の時速160kmで走行する新型スカイライナーにより、最短36分で結ばれることになります。

車両デザインは、世界的なファッションデザイナー・プロデューサーである山本寛斎氏が手がけ、外観は日本古来の色である藍をアレンジした青と白で「風」を表現。「凜」をコンセプトにした室内は大きな窓と広い座席間隔の確保に加え、横揺れを抑える新型サスペンションの採用などで乗り心地を向上させています。

客室照明は上質な間接照明による温白色の暖かい反射光で、旅への期待感、安らぎの空間を演出

新型スカイライナーの客室内は、車内幅2.7mで、天井は不燃FRPを用いた最高2.4m高さのドーム型となっており、照明は天井両側からコーブ照明によりソフトな室内環境を創出しています。コーブ照明には、FLR40Wラピッドスタート形蛍光灯器具(特注)を片側に2列配置し、天井からの反射光により座席及び通路を柔らかな広がり感のある明かりで包み込んでいます。平均照度は250lx、光源色温度はほどよく温かみのある3500Kに設定。読書や旅の資料の整理などの軽作業にも、お休みをされるお客様にも快適な空間となるよう、国際空港と都心とを繋ぐ特急車両ならではの癒し空間の演出と、贅沢感溢れるしつらえが施された照明となっています。

そのほかの照明として、デッキには天井面をすっきりと見せるFDL27Wダウンライト(3500K)を、トイレにはFDL18Wダウンライト(4200K)とFLR40W・20Wトラフによる間接照明(4200K)が採用されています。



新型スカイライナーの客室内の照明 天井両側に採用されたFLR40Wによる間接照明。旅への期待感、贅沢感、疲れを癒す安らぎの空間を演出



天井からの反射光で車内全体が均質な拡散光で包まれている



座席後方部から前方を望む間接照明



デッキからトイレ及び洗面所を望む



トイレの照明 (FDL18Wダウンライト) と 洗面所の照明 (FDL18Wダウンライト) 間接照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
客車	笠なし器具	特注	368	40W蛍光灯ランプ
			8	20W蛍光灯ランプ